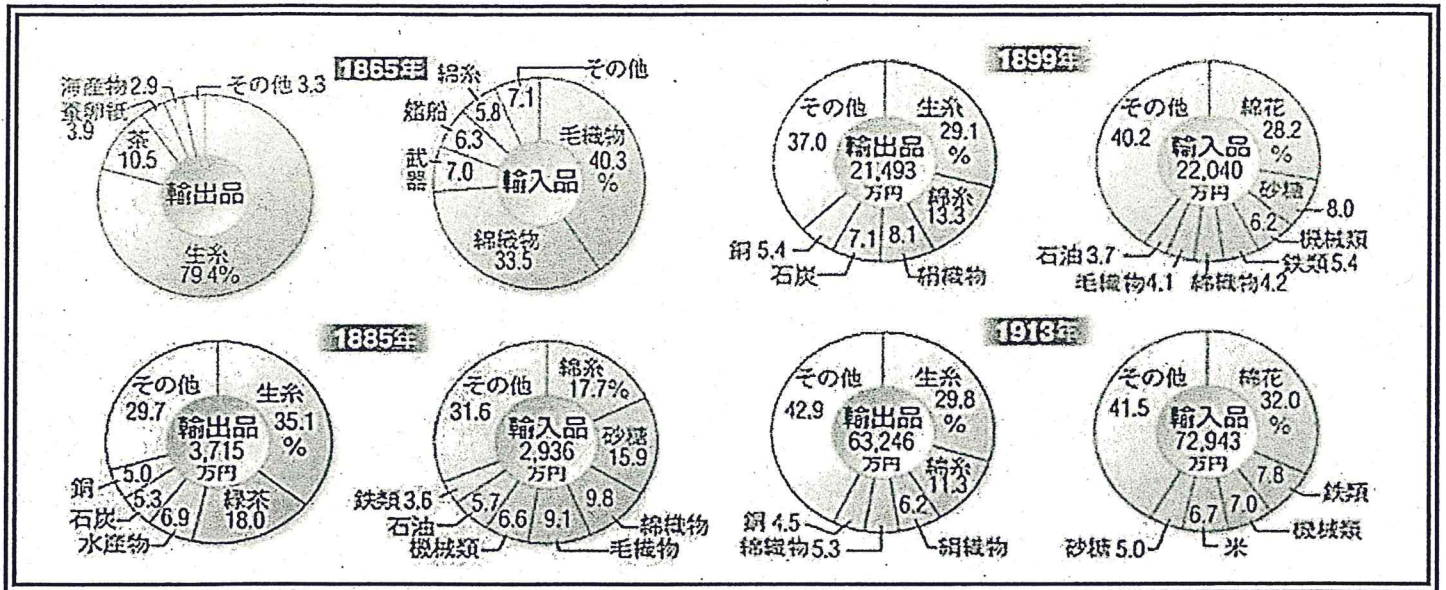


◎次のグラフは 1865年（幕末）～1913年（第一次世界大戦前の日本）の貿易に関するグラフである。



【確認していくポイント】

- 1885年→1913年の貿易額を見ると、輸出は約（ ）倍に、輸入は約（ ）倍に貿易額が急速に増えていることがわかる。
- 1885年までは（ 輸入額 / 輸出額 ）が多かったのに対して、1899年以降は（ 輸入額 / 輸出額 ）の方が多くなっている。
- 1885年～1913年の日本の主となる輸出品は（ ）である。
- グラフ中の「綿」に注目してみると（グラフ中の「綿」の字が入っている品目をすべて○で囲みましょう）…

1865年	<input type="checkbox"/> 輸入	綿織物（ 2 ）位	綿糸（ 5 ）位
1885年	<input type="checkbox"/> 輸入	綿糸（ ）位	綿織物（ ）位
1899年	<input type="checkbox"/> 輸入	綿花（ ）位	綿織物（ ）位
	<input type="checkbox"/> 輸出	綿糸（ ）位	
1913年	<input type="checkbox"/> 輸入	綿花（ ）位	
	<input type="checkbox"/> 輸出	綿糸（ ）位	綿織物（ ）位

※ 綿花（原料） → 綿糸（半製品） → 綿織物（製品）となる。

? 左の資料から、日本の輸出入の変化について、貿易額や貿易品目に着目して説明しなさい。

? 以上のことから、当時、日本の近代産業がどのように発展していかようとしているのか説明しなさい。(※教科書や資料集も参考にしましょう) 字数 100字以内

										/	/	/	/	/

関心

資料

思考

3年 組 番(氏名)